川口　浩史 議員

# インターランプ内から出た産廃、どう処理したのか

## 答 掘りおこした業者が適正に処分するよう指導した

有害鳥獣、法にのっとり、しっかり対策が必要だね

**問** 有害鳥獣への対策はどのようにしているのか。

**答** 農政課長　電気柵の設置指導や出荷できない農産物、生ごみを投棄しないよう注意喚起している。また捕獲用のオリなどを設置している。

**再問** オリのエサを置くのも狩猟免許が必要だが免許所持者が置くようにしていくのか。

**再答** 農政課長　オリもワナの狩猟免許が該当する。有資格の指導のもと適正に管理する。

**再問** 嘱託職員に巡廻をさせていて、その巡廻もエサがおかれていない等不充分だが改善すべきでないか。

**再答** 町長　猟友会の人数も減るいっぽうのきびしい状況にも、その知見をもって取りくまれている。町は側面から応援をしており、直接取組む状況ではない。

### インターランプ内からでた産廃について

**問** インターランプ内から以前埋めてあった産廃が出てきたという。どう処理したのか。

**答** 副町長　安定5品目の最終処分場として埋めたもの。東松山環境管理事務所は掘り起こした業者が適正に処分するよう指導したと聞いている。

**再問** 産廃が積み上げられているが適正な処理なのか。

**再答** 副町長　東松山環境管理事務所が確認したところ仮置きしているようだとのこと。

**再問** 雨が降っても流れ出ないようシートで覆う必要があるのではないか。

**再答** 環境課長　東松山環境管理事務所に指導を要請する。

インターランプ内から出てきた産廃と思われる山

### 無許可埋立をした業者名が「広報嵐山2月号」に掲載された件について

**問** 公表の経緯は。

**答** 環境課長　千手堂の比丘尼山に無許可埋立ては搬出命令後に一部搬出されたがその後は町が督促しても対応がないことから本町の条例に基づき令和元年12月19日公表をおこなった。

藤野　和美 議員

# 北部地域の活性化を

## 答 地域の方と協力しながらやっていく

北部地域には都会に発信できる魅力がたくさんある

**問** 北部地域の遊休農地は。

**答** 農政課長　642筆51万4629平方メートル。

**再問** 農業に関心のある人が増えている。サポートの仕組みをつくって幅広く募集して耕作してもらえばよいと思うが。

**再答** 町長　その通りと思う。

**問** 嵐山町まもり隊への支援は。

**答** 地域支援課長　引き続き支援を行っていく。

**問** 北部交流センターの周辺は豊かな自然が残されている。活用していく考えは。

**答** 健康いきいき課長　心身の健康づくりに活用してほしい。

**再問** 北部交流センターを中心とした施設を、ウォーキングや自然体験、農事体験などの拠点として活用していければと思うが。

**再答** 町長　北部の拠点であり、協力しながらやっていく。

**問** 農協嵐山支店の移転の計画があるが、ATMの機能を残すよう申し入れは。

**答** 農政課長　申し入れをする。

吉田地内の風景＝R2.3.17

### 障害者等の移動手段の確保について

**問** 生活サポート事業利用者数の前年との比較は。

**答** 健康いきいき課長　今年は48人、前年は85人。

**問** タクシー助成券を交付しているが、36枚と少ない。

**答** 健康いきいき課長　来年度から48枚にする。

**再問** 金額も高齢者外出支援に比べ実質的に低い。

**再答** 健康いきいき課長　来年度からどちらかを選べるようにする。

**問** 多くの人が取り残されている現状がある。

**答** 健康いきいき課長　一日でも早く解消したい。

### 嵐山幼稚園の3年保育について

**問** 実施しないのは、財政的事情か。

**答** 教育委員会事務局長　それもある。

**問** 人口減少に歯止めをかけるためにも必要だと思うが。

**答** 教育委員会事務局長　将来入園希望者数が減少すれば検討する。